

院長
横山 太郎



自己紹介

私は、腫瘍内科医として抗がん剤治療を行う中で「病気を抱えながら、これからどう生活するのか?」に関わる意思決定支援に興味を持ちました。よって、横浜市立市民病院 緩和ケア内科では、終末期からではなく診断時から関わり意思決定支援を行なっていく「早期からの緩和ケア」の臨床試験を行い、厚生労働省科学研究班の中でマニュアル作成にも携わりました。そのような中で、医療者のみで意思決定支援をすることは、価値観の多様化から質的にも、超高齢社会から量的にも困難と判断し、「非医療者も含めた様々な人が意思決定支援を行う体制」を作ることが必要だと感じ、社会活動も開始しました。誰もが「これでいいのだ」と自信をもって意思決定できる社会を目指したいと思います。

その他の役職

神奈川の地域医療を考える会 幹事
死の臨床研究会 関東甲信越支部 役員
Co-Minkan 普及実行委員会 共同代表
Indicocrea 代表理事
株式会社 ピースサイン 代表取締役

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	外	外	外	外	惠生会 竹山病院	—	—
13:00~15:00	育生会 横浜病院	外	外	育生会 横浜病院	○	—	—
15:00~18:00	○	○	○	○	○	—	—

○:訪問診療 外:外来 ※完全予約制
遠隔診療・動画による医療説明あり

診療科目

- ・内科
- ・緩和ケア内科
- ・腫瘍内科

詳しくはこちらへ!



対応地域

下記地域以外もクリニックから16km以内は対応可能です。
詳細についてはお問い合わせください



医療法人社団 晃徳会



横山医院

在宅・緩和クリニック

在宅医療

緩和ケア内科・腫瘍内科
(外来・訪問)

事務

TEL:045-465-6393
FAX:045-345-4603

緊急連絡先(新患依頼)

Mobile:080-1096-0823
<https://yokoyamazaitaku.jp/>

〒240 - 0042
神奈川県横浜市保土ヶ谷区上星川3-2-24 丸宮薬品ビル2階

【略歴】

埼玉医科大学国際医療センター内科 助教

埼玉医科大学国際医療センター腫瘍内科 助教

横浜市立市民病院 緩和ケア内科 副院長

平成29年～医療法人社団晃徳会 横山医院に緩和ケア内科・腫瘍内科開設

育生会 横浜病院 恵生会 竹山病院 勤務開始

平成31年～医療法人社団晃徳会 横山医院 在宅・緩和クリニックを開設

【主な活動】

●平成25年度 厚生労働省科学研究費補助金

「診断時から早期に緩和ケアを提供する体制整備に関する研究」班員

●平成26年度 文部科学省委託事業

地域キャリア教育支援協議会設置促進事業 企画

●平成27年度 第20回日本緩和医療学会学術大会

「早期からの緩和ケア」シンポジスト

●平成28年度 勇美記念財団在宅助成金による「子はかすがいプロジェクト」主催

●平成29年度 日本財団ソーシャルイノベーター選出

●第22回日本緩和医療学会学術大会 交流フォーラム 企画責任者

●WHOと県庁が連携したASEAN高級実務者会議 ランチョンセミナー登壇

●第21回黒岩知事との“対話の広場” Live神奈川 登壇

●第42回日本死の臨床研究会 シンポジスト「市民と共に行う意思決定支援」

●第42回日本死の臨床研究会 座長

「人工知能AIの現状とこれから一生と死を考える」

●日本プライマリ・ケア連合学会神奈川支部第100回学術集会シンポジスト

●第26回日本死の臨床研究会 関東甲信越支部大会 大会長

●第24回日本緩和医療学会学術大会 シンポジスト

「地域住民へのがん・緩和教育の実際」

【主な執筆】

●全身倦怠感の原因と出現するメカニズム 日総研

●呼吸器疾患—最新の薬物療法— 「がん性疼痛治療薬」克誠堂出版

●レジデントノート がん診療のキホン がん患者の診かた・支え方 羊土社

●EBM 呼吸器疾患の治療 「早期からの緩和ケアはどのように行われるべきか？」中外医学社

●緩和ケアの基本66とアドバンス44

●続 エビデンスで解決! 緩和医療ケースファイル 南江堂

●がんサーボードスクエア 2月号after202

横山医院は昭和28年に横山晃也が開業しました。それ以降、3代65年続いている医院です。